　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　３年　　月　　　日

　公益社団法人宮城県建設センター　行

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　市町村名〔　　　　　　　　　　　　　　〕

　　　　会議への出席については、　　　　出席　　・　　欠席　　　します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 職名 | 氏名 | 摘要 |
|  |  |  |
|  |  |  |

　※基本的には、各市町村1名のご参加でお願いいたしますが、

　　これによりがたい場合にはご相談ください。

　※出席者は、代理も含めてご検討いただければ幸いです。

アンケート（意見・要望等）

　※当センターの事業について、ご意見・ご要望を記載願います。

　　また、各市町村様が抱えている問題点についてご記載いただいても結構です。

　①積算及び工事監理業務について

|  |
| --- |
|  |

　②橋梁点検、長寿命化計画策定業務について

|  |
| --- |
|  |

　③技術研修、県外研修助成事業について

|  |
| --- |
|  |

　④その他の支援業務について（新たな支援要望も含む）

|  |
| --- |
|  |

令和３年度　橋梁の長寿命化等社会資本老朽化対策の市町村支援に関するアンケート調査

R3.7.12計画管理部

　この調査は，橋梁の長寿命化など社会資本老朽化対策を推進する県内市町村に対し，今後当センターが的を射た必要な支援を円滑かつ迅速，的確に実施していくため，予め市町村の現状や問題意識，ニーズ等を把握することにより，質が高く顧客満足度の得られる対応策（サービス）を検討していくことを目的としています。

　このため，道路等の社会資本の整備や管理を所管する部署で，かつ全体像を把握されている管理職の方に回答をお願いするものです。

１．橋梁長寿命化計画の進捗等についてお伺いします。

　（１）１巡目点検が令和元年度に終了していますが，健全度Ⅲと判定された橋梁については，点検から５年以内に補修工事を実施されていますか？（ア～ウから一つ選択）

　　　ア　７割以上　　イ　４割以上７割未満　　ウ　４割未満　　※対象は健全度Ⅲの橋梁数

　（２）実施されていない橋梁について，その理由は何ですか？（ア～エから選択，複数可）

　　　ア　予算不足　　イ　技術力不足　　ウ　マンパワー不足

　　　エ　その他〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

２．橋梁長寿命化修繕計画の現状や問題点等についてお伺いします。

　（１）補修工事の実施又は補修率の向上に利活用できていますか？（ア～ウから一つ選択）

　　　ア　大いにできている　　イ　まあまあできている　　ウ　さほどできていない

　（２）（１）でア又はイと回答した具体的な理由を教えてください。

　　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　（３）（１）でウと回答した具体的な理由を教えてください。

　　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　（４）（１）でウと回答した方にお願いします。改善要望等があれば具体的に記載願います。

　　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

３．センターでは，東北大学インフラ・マネジメント研究センター（ＩＭＣ）との共同研究に　　　おいて，市町村橋梁の補修率の向上を目指して，支援領域の拡大について検討を進めています。

　（１）一つ目は，健全度Ⅲ橋梁への補修アドバイスとして，構造計算や詳細調査の要不要，　　　レベルⅡ部材のうち早期補修の要不要の仕分け，更には橋梁の機能に着目した補修工法の選定・提案等を検討していますが，貴市町村ではどう思いますか？（ア～ウから一つ選択）

　　　ア　大いに期待する　　イ　まあまあ期待する　　ウ　さほど期待しない

　（２）（１）でウと回答した具体的な理由を教えてください。

　　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

（３）二つ目は，構造計算の不要な簡易な橋梁の補修設計や詳細調査について，支援することができないか検討していますが，貴市町村ではどう思いますか？（ア～ウから一つ選択）

　　　ア　大いに期待する　　イ　まあまあ期待する　　ウ　さほど期待しない

　（４）（３）でウと回答した具体的な理由を教えてください。

　　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　（５）これらのほかに，センターへの支援要望等があれば記載願います。

　　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

４．センターでは，東北大学ＩＭＣとの共同研究で開発した自治体用インフラ・データベース　　統合管理システム（センターＤＩＭ）を活用し，県内のインフラ・データの一元管理を目指して取り組んでいるところです。

　（１）その一つとして，県と連携してデータの保管・閲覧・更新が可能なカルテ機能を有する橋梁台帳をはじめとする道路施設のデータシステム整備に向けた検討を進めていますが，貴市町村ではどう思いますか？（ア～エから一つ選択）

　　　ア　大いに期待　　イ　まあまあ期待　　ウ　さほど期待しない

　　　エ　その他〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　（２）（１）でア又はイと回答した具体的な理由を教えてください。

　　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　（３）（１）でウと回答した具体的な理由を教えてください。

　　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　（４）（１）でア又はイと回答した方にお伺いします。例えば，センターによる市町村橋梁台帳の整備を想定した場合，特にどのような機能が必要と考えますか。具体的に記載願います。

　　　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　（５）（４）に関連してお伺いします。その場合，貴市町村では，橋梁台帳システムの利用料を支払うことは可能ですか。（ア～エから一つ選択）

　　　ア　可能　　イ　不可能　　ウ　どちらともいえない

　　　エ　その他〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　お伺いしたい項目は以上です。ご協力ありがとうございました。

　なお，今回ご回答いただきました内容に関しましては，市町村担当課長連絡会議の中で改めて

当センターから具体的な提案等をさせていただき，その上で皆様と意見交換を行いたいと考えて

おりますので，よろしくお願いいたします。

　市町村名〔　　　　　　　　　　　　　　　〕

　ご所属・職　　　　　　　　　　　　　　　　お名前